

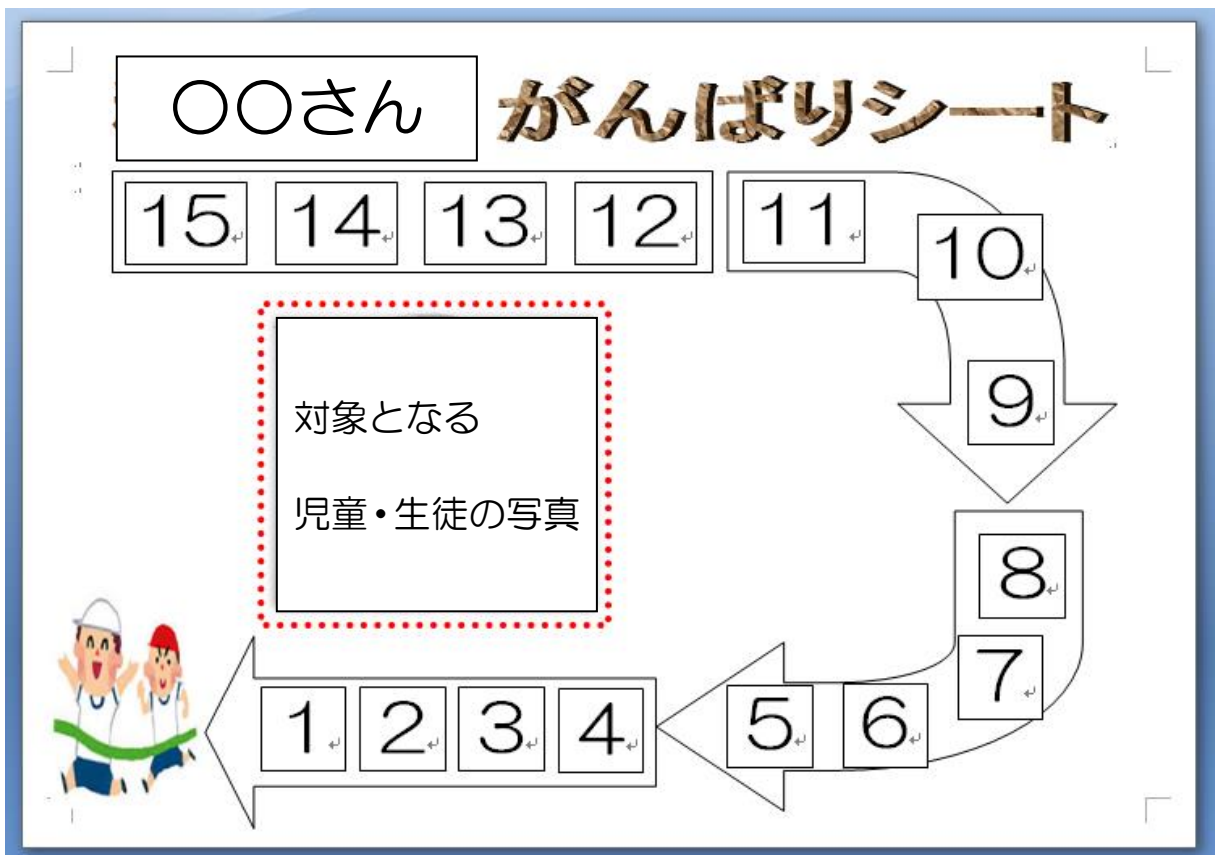
教材名 「 ○○さん がんばりカード 」

教材のポイント

まず、この教材の対象となる児童は、体育の際、体育館を一周走ると、「もう終わり」言った感じで座り込んで、その後教員が促しても再度走るとは難しかった。そこで、初めはホワイトボードに1～10までの数を書き、1周走ると数字を消していく方法をとっていたが、このシートを用いて、1周走るとマグネットを1つつつ進めていくことで、終わりに近づいていることが児童もわかり、見通しをもって目標の回数走ることができるようになった。この教材では、15までだが、実態に応じて、5にしたり、30にしたり、調節も容易にできる。

提供者： 白石 尚聖

教材の写真



教材名 「 ボール投げ（握る場所） 」

教材のポイント

- ・ボール投げの授業で使用。
- ・握り方は絵カードや写真カードではイメージがつかなくなかったり、手の大きさによって握り方が異なったりするため、ボールに手の形で印をつけることで、生徒がボールをよく見たり、投げる前に印と自分の握る位置が合っているか自分から確認をする様子は多くみられた。

- ①校庭用（ソフトボール）
- ②体育館用（ティーボール）

提供者： 深谷 実紀

教材の写真

①



②



教材名 「マット運動のための補助教具」

教材のポイント

- ・マットにしっかり手や体を着いて前転や横転をすることができる。
- ・手や体を安心して着けるように、フェルトや滑り止マットなどの感触のよい素材を用いた。
- ・素材を赤や黄色の鮮やかな色を使用することによって、よく見えるようにした。

提供者：鈴木 初己

教材の写真



教材名 「人との距離 異性との距離・清潔な体」

教材のポイント

- ・同性の友達や異性の友達、先生、家族との距離の違いについて考える。
- ・日常生活で行う清潔に関する事柄を考える。

提供者： 円谷 元康

教材の写真



教材名 「 目指せゴールド 」

教材のポイント

- ・生徒の実態に合わせて目標を設定する。頑張れば達成できそうなラインをゴールドにし、そこを目指そうと意欲を高める。
- ・一周するごとに自分の写真をスライドさせ、自分が今どのくらいかを分かるようにした。
- ・ただ目標を決めるだけでなく、視覚化することで意欲を高められるようにする。

提供者： 奥山 和明

教材の写真



○段階的に色を変え、どのくらい頑張れたかを分かるよう視覚化した。